|  |
| --- |
| 練馬区 プレスリリース　　送付日　２０２１年（令和３年）１月１９日 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | 練馬区発100万人のハンドスタンプアートプロジェクト  東京2020大会応援アートが完成！ |
| 開催日 | １月19日（火）～29日（金） |
| 会　場 | 練馬区役所本庁舎１階アトリウム（豊玉北６－１２－１） |
| **区は、本日から、練馬区役所で、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の200日前を記念して、洋画家で練馬区名誉区民の野見山暁治氏が制作した大会応援アート『こんな風の話』の展示を開始する。**  **このアート作品には、大会に向けた機運醸成として平成30年の秋から取り組んでいる「練馬区発100万人のハンドスタンプアートプロジェクト」で集まった、区立学校の児童・生徒を始めとする多くの区民の手形（ハンドスタンプ）が使用されている。作品の大きさは、縦2.6メートル・横４メートル。**  ▲大会応援アート「こんな風の話」  展示の様子  **また、東京2020大会公式アートポスターの展示や、**  **区がホストタウンとなっているデンマーク王国とエクアドル共和国のパネル紹介も行う。** | |

【大会応援アート等の展示概要】

期間　　：　１月19日（火）～１月29日（金）　午前８時45分～午後８時（29日は午後５時まで）

場所　　：　練馬区役所本庁舎１階 アトリウム（豊玉北６-12-1）

展示物　：　東京2020大会応援アート『こんな風の話』（東京2020大会公認プログラム）

東京2020大会公式アートポスター

ホストタウン相手国紹介パネル

* 野見山氏制作の『こんな風の話』は、今後、区が大会に向けて開催するイベント等で、適時展示

する。なお、上記期間終了後、同作品の大型ポスターを大会終了までアトリウムに展示する。



【作者】野見山　暁治（のみやま　ぎょうじ）　略歴

大正９年(1920年)生まれ。100歳。日本の現代洋画界を代表する画家。昭和27年に渡仏。「日本国際美術展」に出品するなど意欲的に活動し、昭和39年に帰国。

平成15年に東京国立近代美術館で展覧会が開催されるなど、現在も日本美術界において大きな存在感を示している。平成12年に文化功労者に選ばれ、26年に文化勲章を受章。練馬区名誉区民。

▲野見山暁治氏

（撮影：川津英夫）

【参考】練馬区発100万人のハンドスタンプアートプロジェクト

　練馬区は、「一般社団法人HAND STAMP ART PROJECT（代表者　横山万里子氏）」が取り組む、病気や障害がある子どもたちと、それを応援する人たちの手形を集めてアート作品を制作し、東京2020大会を応援する「HAND STAMP ART PROJECT」に、協力している。平成30年の秋に東京23区で初めて、「練馬区発100万人のハンドスタンプアートプロジェクト」を立ち上げ、区主催イベントなどで手形を集めてきた。今回の作品にはこれまで集まった区民の手形を使用している。

【問い合わせ】練馬区 ｵﾘﾝﾋﾟｯｸ・ﾊﾟﾗﾘﾝﾋﾟｯｸ事業担当係　電話：03-5984-1270